

陸空機

FK25

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

株式会社 富士トレーラー製作所

# はじめに

このたびは、畦塗機FK25をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、正しい取り扱い方法と安全に操作する方法について詳しく記載してあります。

畦塗機をご使用になる前に、本書全ての項目を熟読の上よくご理解いただき、安全に作業を行ってください。

## ◎ 注意表示について

使用上、特に重要と考えられる注意事項について下記のように表示しています。

必ず守り作業をしてください。

**⚠ 危険** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

**⚠ 警告** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

**⚠ 注意** 注意事項を守らない場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

## ◎ 本製品(畦塗機FK25)の使用目的






- 水田の畦塗り作業に使用し、使用目的以外の作業には決して使わないでください。
- 畦塗機は、決められた適応馬力で設計しています。  
適応馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は、故障の原因になります。
- 畦塗機は「標準3点リンク」「特殊3点リンク」で設計しています。他の規格では、装着ができません。
- 畦塗機の改造は、決して行わないでください。






## ◎ 安全対策について

- 本作業機に関する危険をすべて予測することができません。また、取扱説明書や警告ラベルでその危険をすべて伝えることができません。作業機の運転、保守作業については、一般的に求められる安全対策の配慮が必要です。

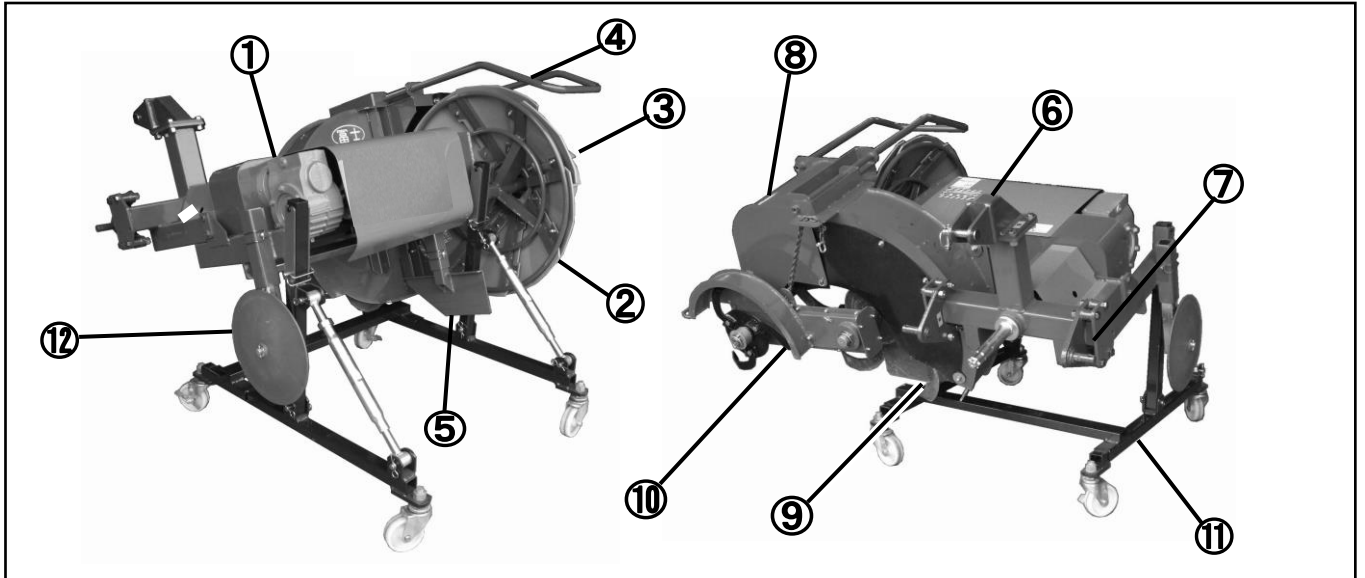
# 目次

安全に作業をするまえに	1	5. 上面削りチェーンケースの調整	9
主要各部の名称と働きについて	3	6. 尾輪の調整(オプション)	10
各部品組立	3	7. 安定板の調整	10
1. 組み込み部品	3	8. シャーピン(安全ピン)	10
2. ディスク、上面ドラム組み込み	3	10. ホッパーの調整	11
3. ヒッチ金具の組立	3	<b>作業時の注意</b>	11
4. 畦塗機吊り位置	4	<b>手入れと点検の仕方</b>	11
<b>トラクターへの装着の仕方</b>	4	1. オイルの点検	12
1. トラクター装着の規格について	4	2. グリスの点検	12
2. 日農工標準3点オートヒッチ/ 日農工特殊3点オートヒッチの装着順序	4	3. チェーンテンションの点検	13
3. 日農工標準3点オートヒッチ/ 日農工特殊3点オートヒッチの取外し順序	5	4. 水洗い	13
4. 標準3点リンクの装着手順	6	5. 樹脂羽根の保管	13
5. 標準3点リンクの取外し手順	7	6. 消耗品について	13
<b>移動時の注意</b>	7	<b>オプション</b>	14
<b>圃場の条件</b>	8	<b>ワンポイントアドバイス</b>	14
<b>運転作業及び畦塗り機作業時の調整の仕方</b>	8	1. 畦が固く締まらない	14
1. トラクター各部調整	8	2. 畦上部の肩が締まらない	15
2. 畦高さの調整	8	3. 畦が広がってしまう	15
3. 畦立ち上がり位置	9	4. メインホッパー内で土が溜まってトラクターが曲がる	15
4. 進行方向にたいしての前後・左右の水平調整	9	5. チェーンが切れる	15

<p>運転前の注意事項</p> <p> <b>注意</b></p>	<p>2) 畦塗機の改造は禁止</p> <p>畦塗機の改造はしないでください。純正部品以外は使用しないでください。</p> <p>▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> <b>警告</b></p>	<p>1) 点検・整備・修理・掃除は、トラクターのエンジンを停止させる</p> <p>点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態で行う時は、トラクターのエンジンを停止してください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> <b>注意</b></p>	<p>1) 点検・整備をする</p> <p>畦塗機を使用する前と後には、点検・整備をしてください。</p> <p>▲機械の早期破損をまねくおそれがあります。</p> <p>2) 点検・整備は平らで安定している場所で行う</p> <p>交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり動いたりしない平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> <b>警告</b></p>	<p>1) 畦塗機の脱着は、平らで安定している場所で行う</p> <p>畦塗機の脱着は、平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>2) トラクターと畦塗機の周辺に人を近づけない</p> <p>トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>3) 畦塗機の下に潜ったり足を入れない</p> <p>畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>4) 畦塗機に巻き付いた草やワラを取るときは、エンジンを停止させる</p> <p>回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから作業を行ってください。</p> <p>▲回転部分に巻き込まれて死亡事故やケガを負うおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> <b>注意</b></p>	<p>1) 畦塗機の調節はエンジンを停止して行う</p> <p>畦塗機の調節をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけてPTO変速レバーを中立にして、エンジンを停止してから行ってください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p>

<p>運転前の注意事項</p> <p> <b>注意</b></p>	<p>2) 畦塗機の改造は禁止</p> <p>畦塗機の改造はしないでください。純正部品以外は使用しないでください。</p> <p>▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> <b>警告</b></p>	<p>1) 点検・整備・修理・掃除は、トラクターのエンジンを停止させる</p> <p>点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態で行う時は、トラクターのエンジンを停止してください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p> <p> <b>注意</b></p>	<p>1) 点検・整備をする</p> <p>畦塗機を使用する前と後には、点検・整備をしてください。</p> <p>▲機械の早期破損をまねくおそれがあります。</p> <p>2) 点検・整備は平らで安定している場所で行う</p> <p>交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり動いたりしない平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて事故を起こすおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> <b>警告</b></p>	<p>1) 畦塗機の脱着は、平らで安定している場所で行う</p> <p>畦塗機の脱着は、平らで安定している場所で行ってください。</p> <p>2) トラクターと畦塗機の周辺に人を近づけない</p> <p>トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>3) 畦塗機の下に潜ったり足を入れない</p> <p>畦塗機の下に潜ったり足を入れないでください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>4) 畦塗機に巻き付いた草やワラを取るときは、エンジンを停止させる</p> <p>回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから作業を行ってください。</p> <p>▲回転部分に巻き込まれて死亡事故やケガを負うおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p> <p> <b>注意</b></p>	<p>1) 畦塗機の調節はエンジンを停止して行う</p> <p>畦塗機の調節をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけてPTO変速レバーを中立にして、エンジンを停止してから行ってください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p>

## 【 主要各部の名称と働きについて 】



**① ウォームギアケース**

P.T.回転を減速します。

**② ディスク**

畦法面を整形します。

**③ 上面ドラム**

畦上面を整形します。

**④ ディスクガード**

作業中の安全を高めます。

**⑤ 安定板**

畦塗機及びトラクターの直進性をよくします。

**⑥ ヒッチ金具(トップマスト)**

**⑦ ヒッチ金具(ローピンブラケット)**

**⑧ サイドホッパー**

土を畦上面に留める働きをします。

**⑨ ロータリー**

元畦を削り取り土を、細かくします。

**⑩ 上面削りチェーンケース**

1)元畦上面の草を削り取ります。

2)元畦上面の凸凹をきれいに整えます

3)元畦のもり土をなじみが良くなります。

**⑪ スタンド**

**⑫ 尾輪(オプション)**

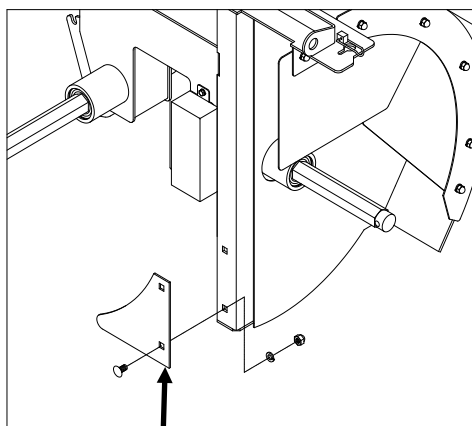
畦塗機及びトラクターの直進性をよくします。

## 【 各部品を組立て 】

各部品を組み込んでください

### 1. 組み込み部品

ガイドプレート(ロータリーカバープレート) 取付※土量が少ない場合に取付



④ ガイドプレート(ロータリーカバープレート)

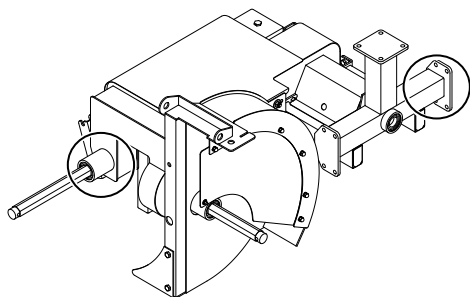
### 2. ディスク, 上面ドラム組み込み

### 3. ヒッチ金具の組み込み

ヒッチ金具は、トラクターによって取付方が違います。取付方は、ヒッチ金具の入っていた段ボール内に、取付図面が入っています。そちらを参考にしてください。

#### 4. 畦塗機の吊り位置

図の「○」印の所を吊るとバランスが、取れます。



「FK-25」

### 注意

畦塗機を吊り上げる場合は、周辺に人が入らないようにしてください。

畦塗機の下には、絶対に入らないでください。

## 【 トラクターへの装着の仕方 】

### 1. トラクター装着の規格について

- ・ 日農工標準3点オートヒッチ
- ・ 日農工特殊3点オートヒッチ
- ・ 標準3点リンク

以上の規格で設計しています。他の規格では装着ができません。

### 注意

- ・ トラクター装着が規格に合っているか、トラクターの取扱説明書を読んで確認してください。  
畦塗機のヒッチ金具も規格によって、違います。合わない場合は、取付ができなかったり、  
畦塗機の破損の原因になります。

### 2. 日農工標準3点オートヒッチ／日農工特殊3点オートヒッチの装着順序

### 警告

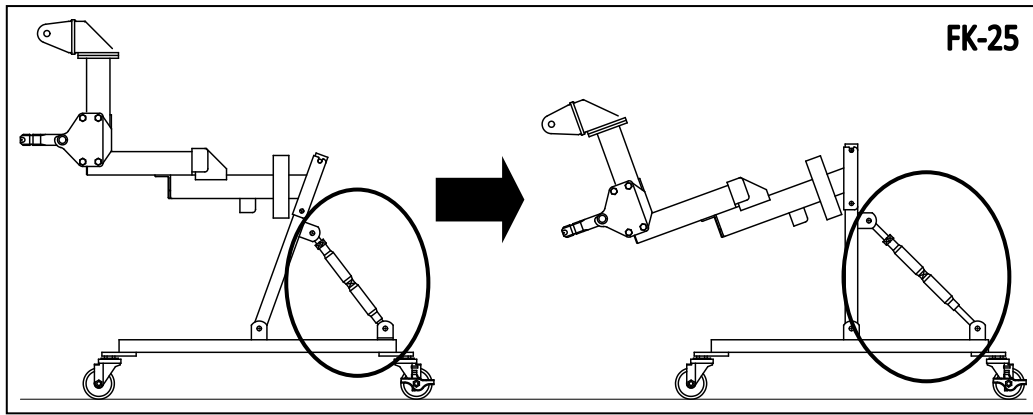
- ・ 畦塗機の装着は平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下にもぐったり、足をいれないでください。

### 注意

- ・ トラクターにより、自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。  
または油圧レバーは、ゆっくり上げ、トラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。

### 1) 畦塗機の装着姿勢

FK-25 スタンドのタンパックルを伸ばして畦塗機を前傾にしてください。



- 2) トラクター側ヒッチのロックを解除し、畦塗機ローアピンブラケットが装着可能な状態にしてください。
- 3) トラクターをゆっくりバックさせながら、油圧レバーを下げ、トラクター側のトップフックを畦塗機のトップマストのピンの下にくぐらせてください。
- 4) 畦塗機ローリンクブラケットが左右きちんとロックされている事を確認してください。  
ローリンクブラケット及びPTOの補助シャフトが入らない場合は、トラクターの右側リフトロッドを伸縮させて、傾きを調整してください。
- 5) スタンドを取り外してください。

### 3. 日農工標準3点オートヒッチ／日農工特殊3点オートヒッチの取外し順序

#### 警告

- ・ 畦塗機の取外しは平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下にもぐったり、足をいれないでください。

#### 注意

- ・ トラクターのPTO変速レバーを中立にし、取外してください。誤操作でPTO軸が回転し、事故になるおそれがあります。

- 1) 畦塗機にスタンドを取付け、リンクピンで固定してください。
- 2) トラクター側ヒッチのロックを解除してください。
- 3) 畦塗機をゆっくり下げてください。
- 4) トラクター側ヒッチから畦塗機ローアピンブラケットが抜けて、トップマストのピン(畦塗機側)からトップフック(トラクター側)が外れるのを確認してから、ゆっくりとトラクターを前進させてください。  
外れない場合は、スタンドの前傾が適切でないか、トラクターヒッチが左右水平になっているか確認してやり直してください。

#### 4. 標準3点リンクの装着手順

### 警告

- ・ 畦塗機の装着は平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下にもぐったり、足をいれないでください。

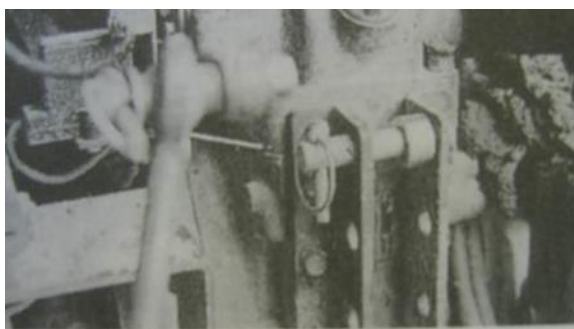
### 注意

- ・ トラクターにより、自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。または油圧レバーは、ゆっくり上げ、トラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。

- 1) トラクターのロアーリンクの位置を作業機位置にしてください。
- 2) 畦塗機のロアーピンブラケットのピンに、トラクターのロアーリンクを取り付けてください。  
リフトレベルリングの無い方から装着してください。
- 3) トラクターの機種によってトップリンクホルダーの幅が広い場合があります。  
そのときは、畦塗機の付属部品のトップカラーを1個または、2個入れてガタ付きを調整してください。



トップカラーを入れる



トップカラーを1個または2個入れる

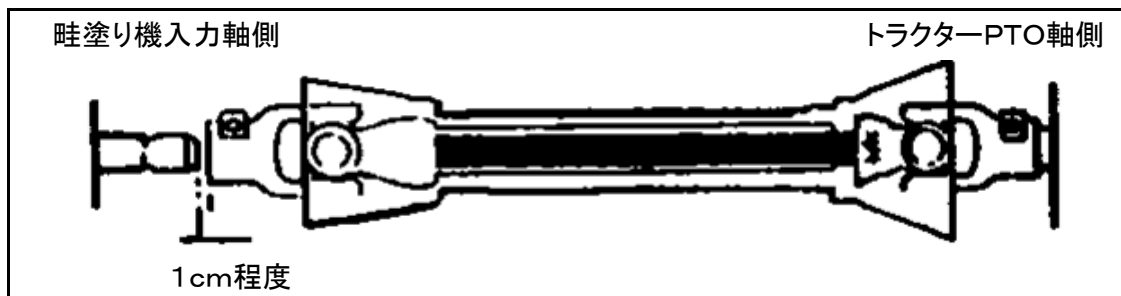
#### 4) プロペラジョイントの取付

トラクターPTO軸と畦塗機の入力軸にプロペラジョイントを取付けてください。

プロペラジョイントを一番縮めた状態で、畦塗機側の入力軸先端とプロペラジョイントの先端との間に1cm程度の余裕を見てください。これ以上プロペラジョイントが長い場合は長い分を切断してください。

プロペラジョイントのノックピンがトラクター側、畦塗機側ともに正規にロックされているか、確認してください。

#### 5) スタンドを取り外してください。

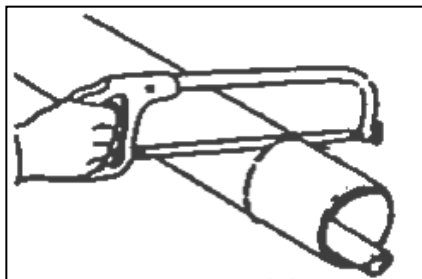


#### プロペラジョイントの切断方法

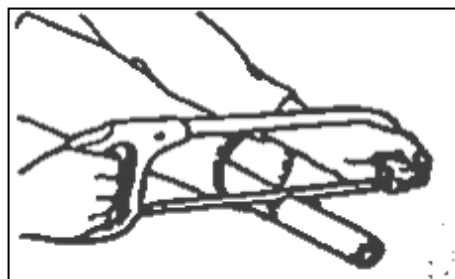
- ① プラスチックカバーを長い分だけオス・メス両方切り取ります。



- ② 切り取ったプラスチックカバーと同じ寸法だけシャフトの先端から切断します。
- ③ 切り口をヤスリ等でなめらかに仕上げ、シャフトにグリスを塗りオス・メスを組み合わせます。



プラスチックケースの切断



シャフトの切断

## 5. 標準3点リンクの取外し手順

### 警告

- ・ 畦塗機の取外しは平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下にもぐったり、足をいれないでください。

### 注意

- ・ トラクターのPTO変速レバーを中立にし、取外してください。誤操作でPTO軸が回転し、事故になるおそれがあります。
  - 1) 畦塗機にスタンドを取付け、リンクピンで固定してください。
  - 2) 畦塗機をゆっくり下げてください。
  - 3) トラクターのPTO軸からプロペラジョイントを外し、つぎに畦塗機の入力軸から外します。
  - 4) 畦塗機のトップマストから、トップリンクを外します。外れないときは、トップリンクの長さを調節してください。
  - 5) トラクターのロアーリンクを取り外してください。リフトレベルリングのある方から取外してください。
  - 6) トラクターをゆっくりと、まっすぐ前進させてください。

## 【 移動時の注意 】

### 警告

- ・ 畦塗機装着時には公道の走行は禁止です。走行はしないでください。必ず、畦塗機を取り外して走行してください。道路運送車両法違反になります。事故をおこすおそれがあります
- ・ 傾斜地での高速・急旋回は、転倒のおそれがあり大変危険です。トラクター速度を落とし、大きく回ってください。事故をおこすおそれがあります。
- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下にもぐったり、足をいれないでください。

1. スライダーが付いている場合は、トラクターの車輪幅内に格納してください。(FK40)
2. トラクターの自動水平装置を解除してください。
3. トラクターの油圧昇降レバーは、必ず上昇でロックしてください。
4. トラクターのブレーキペダルは左右連結して走行してください。

# 【 圃場の条件 】

## 1. 圃場の条件

- 1) 畦塗機で作業する前は、耕起をしないでください。耕起してあると、トラクターの直進性が得られません。  
秋に耕起する場合は、畦際を1行程残して耕起してください。
- 2) 草刈りは、基本的には要りませんが、草の元気が良い場合は、草刈りを行ってください。
- 3) 畦裾際のワラは取り除いてください。(30cmから50cm幅ほど)
- 4) 元畦の高さが30cm以下の作業が可能です。

## 2. 圃場の水分条件

畦塗作業を行う上で、土の湿り具合が一番重要です。

- 1) 圃場の土を丸めて手の平で転がしても壊れずに又親指で軽くつつくと壊れる程度。このような条件で作業して頂きますと申し分のない畦ができます。
- × 2) 白く乾いてホコリがたつような圃場では、湿りが無いので土と土がくっつかず畦が固まりません。
- × 3) 水分が多く、トラクターのタイヤが10cm以上沈む圃場では、畦はできません。

# 【 運転操作及び畦塗機作業時の調整の仕方 】

## 警告

- ・ トラクターと畦塗機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦塗機の下にもぐったり、足をいれないでください。
- ・ 畦塗機の調整をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけて、PTO変速レバーを中立にして、エンジンを停止してからおこなってください。
- ・ 回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから、作業をおこなってください。

## 1. トラクター各部調整

	乾田時	湿田時
エンジン回転数	～2,000(rpm)	～1,500(rpm)
PTOレバー位置	1	1
作業速度	0.1～0.7(km/h)	0.5～1.2(km/h)

※ 速度に関しては、土質にも関係しますので、目安としてください。

尚あまり速いのは、締まりが弱くなったり機械を引きずる感じになり、お勧めできません。

## 2. 畦の高さ調整

- 1) 畦の高さの調節には、上面ドラムの交換により行います。

25cm上面ドラム      元畦が15cm～25cmの畦に使用できます。

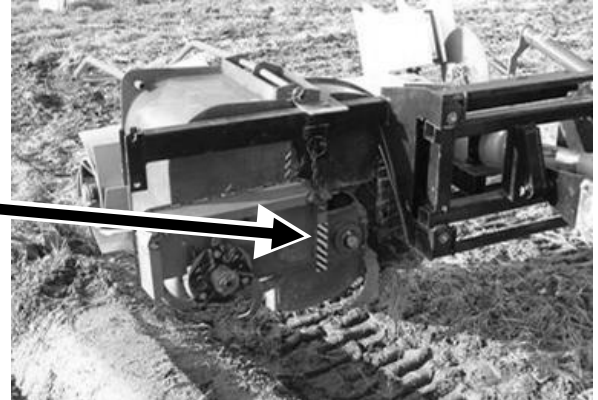
30cm上面ドラム      元畦が20cm～30cmの畦に使用できます。

- 2) 元畦が上記ドラム範囲より低い場合畦上面が十分に締まらない事があります。
- 3) 上面ドラムの交換は、ピン1本で、止めていますので、確実に留めてください。
- 4) 元畦が30cm以上の場合は、作業出来ません。

### 3. 畦立ち上がり位置

上面削りチェーンケースカバーのシールが畦裾の目安になります。

シール位置



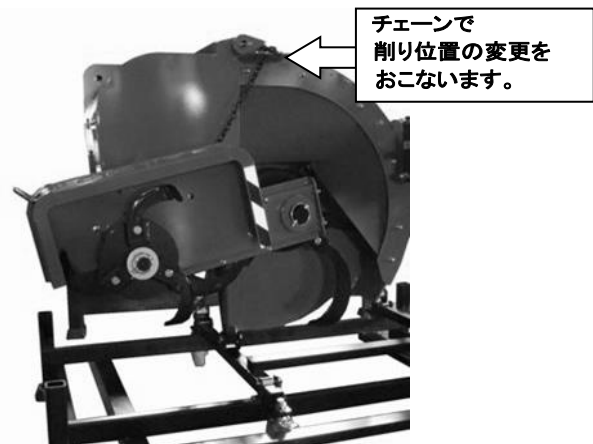
### 4. 進行方向にたいしての前後・左右の水平調整

圃場に入り、1m程作業したら畦塗機の姿勢を見てみましょう。トラクターを停止させてください。運転席から降りて次のことを確認してください。畦塗機本体が作業状態で前後、左右水平になっているか確認し、水平になるように調整してください。

- ・ 前後の水平の仕方  
土量調節ハンドルで調整してください。(FK40)  
「日農工特殊3点オートヒッチ」は、富士畦塗機純正トップリンクで調整してください。  
「標準3点リンク」は、富士畦塗機純正トップリンクで調整してください。
- ・ 左右の水平の仕方  
トラクターのリフトロッドを伸縮させて、左右水平になるように調整してください。

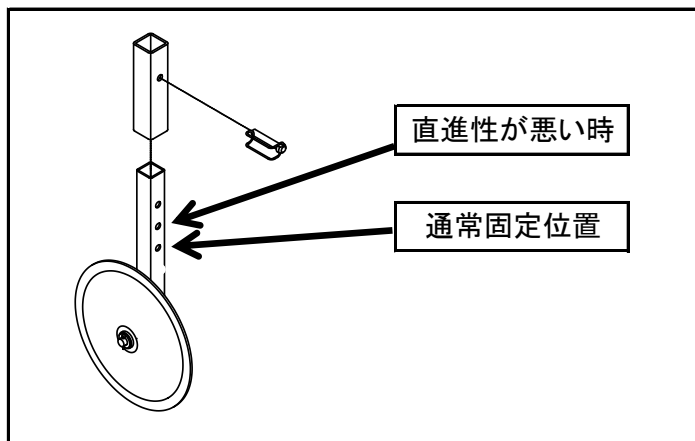
### 5. 上面削りチェーンケースの調整

- 1) 上面削りチェーンケースの爪が畦上面に1/3 が当たるようにあわせてください。  
爪を下げすぎると、元畦より低くなり過ぎたり、場合によっては畦上面の締まりが弱くなります。
- 2) 往復作業時の復作業では、上面を削らない方が良い場合もあります。
- 3) 草の勢いが良すぎて、十分に効果が得られない場合があります。
- 4) 作業中、石・境界杭・側溝のコンクリートにご注意ください。**圃場に石が多い場合は、使用しないでください。**



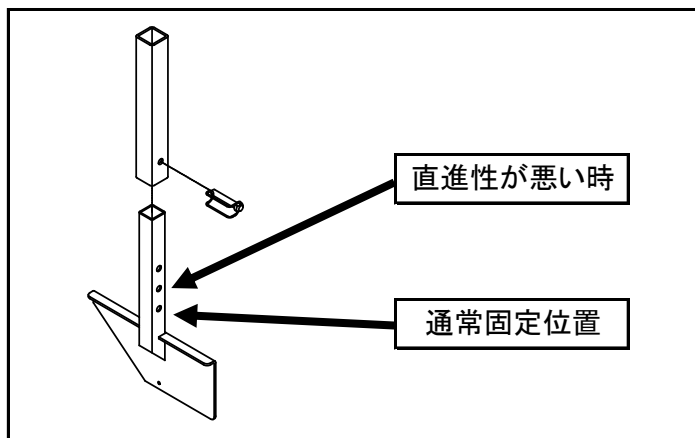
## 6. 尾輪の調整(オプション)

通常、尾輪は上げて、使用してください。  
耕起してあったり、雨後で直進性が悪い時は、  
尾輪を下げて使用してください。



## 7. 安定板の調整

通常、安定板は上げて、使用してください。  
耕起してあったり、雨後で直進性が悪い時は、  
安定板を下げて使用してください。



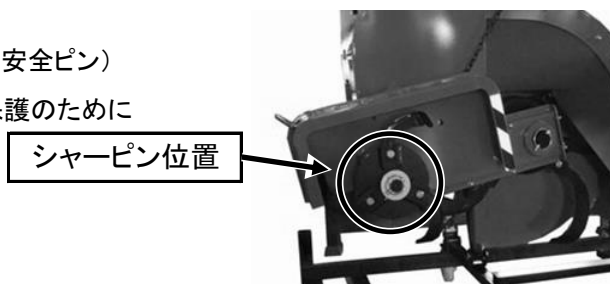
## 8. シャーピン(安全ピン)

### 1) 上面削りチェーンケースロータリー部

上面削りチェーンケースロータリー部には、シャーピン(安全ピン)  
が入っています。石など障害物などで、ギアケースの保護のために  
先に、シャーピンが切れるようになっています。

※ 石など多い所では、上面削りロータリーの動きに注意  
して下さい。

※ 必ず富士トレーラー製作所純正部品を使用して下さい。

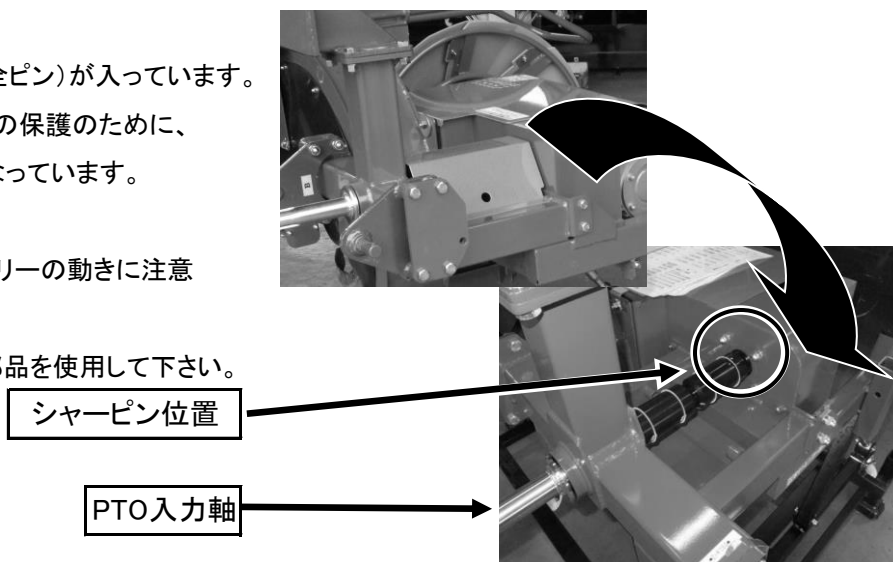


### 2) PTO入力軸部

PTO入力軸には、シャーピン(安全ピン)が入っています。  
石など障害物などで、ギアケースの保護のために、  
先に、シャーピンが切れるようになっています。

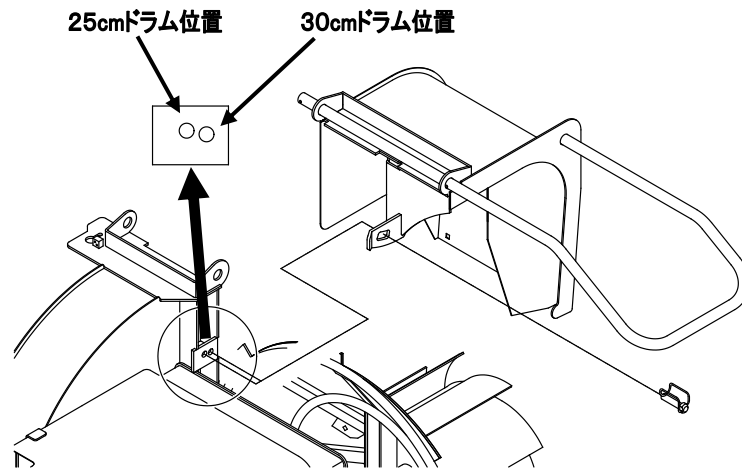
※ 石など多い所では、作業時ロータリーの動きに注意  
して下さい。

※ 必ず富士トレーラー製作所純正部品を使用して下さい。



## 9. ホッパーの調整

上面ドラムによって、ホッパーの固定位置を調整してください



### 【 作業時の注意 】

#### ⚠ 注意

- ・ 畦塗機の改造はしないでください。純正部品以外は取付ないでください。  
事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

### 【 手入れと点検の仕方 】

#### ⚠ 警告

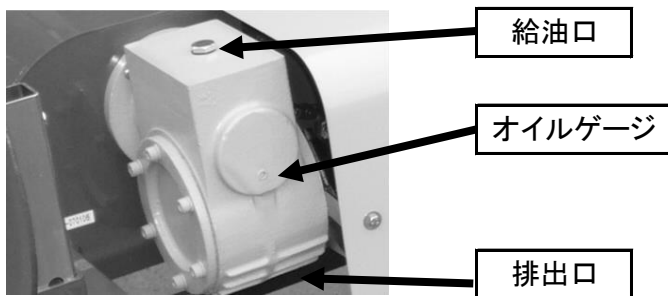
- ・ 点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態でおこなうときは、  
トラクターのエンジンを停止してください。機械に巻き込まれて、事故をおこすおそれがあります。

#### ⚠ 注意

- ・ 交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない。平らで安定している  
場所でおこなってください。
- ・ 畦塗機を使用する前と後には点検・整備をしてください。

## 1. オイルの点検

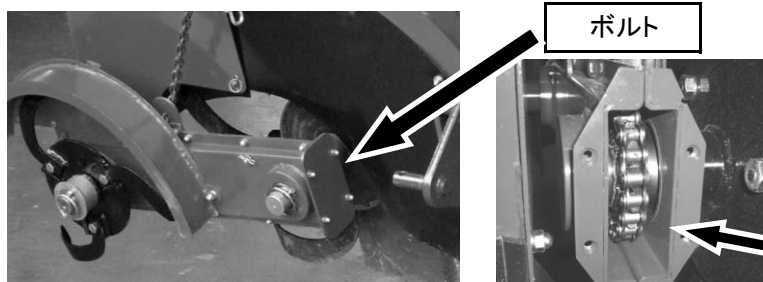
ウォームギアケース



年1回点検  
3年に1回交換  
ギアオイル  
ISO VG 150(#90)  
約1.0リットル

## 2. グリスの点検

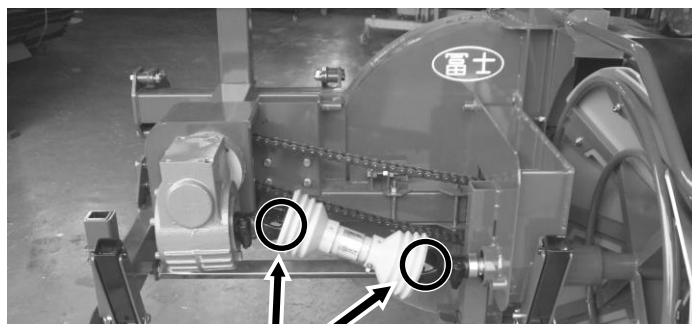
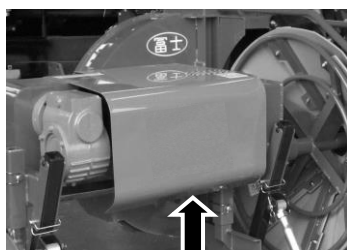
上面削りチェーンケース



- 1) 上面削りチェーンケース脇のボルトを4本外し水抜きを行ってください。
- 2) 上面削りチェーンケース内のチェーン部分に適量グリスを付けてください。

プロペラジョイント

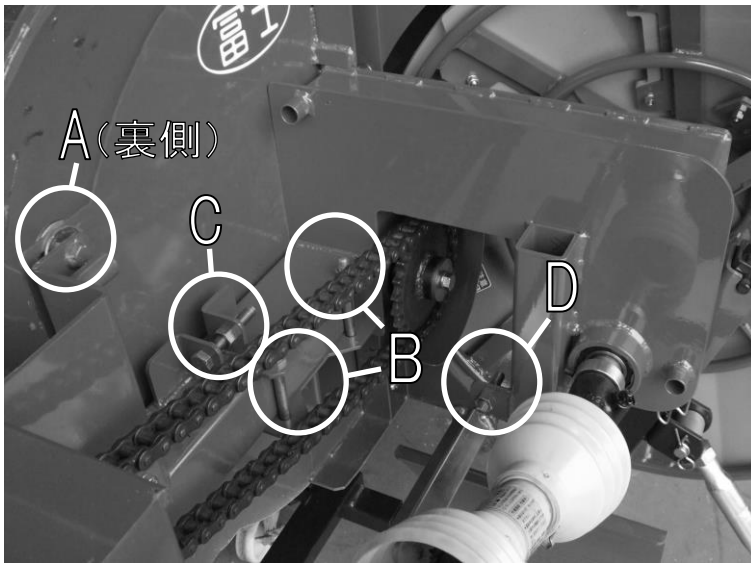
- ・ カバーをはずしてください。



### 3. チェーンテンションの点検

チェーンが緩んでいないか確認して下さい。

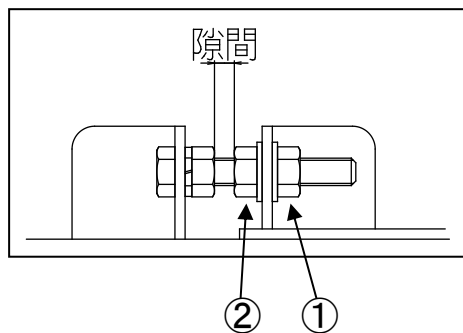
- 1) ご使用されますと、チェーンは伸びます。作業前には必ず、チェーンの張り具合を点検してください。
- 2) チェーンの、伸びたままの、ご使用は、チェーン切れの原因になります。



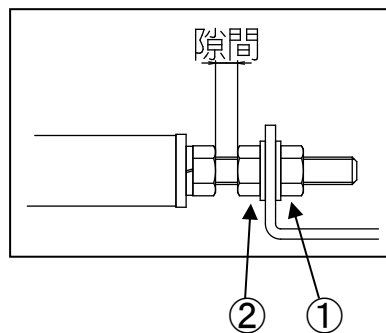
#### 「ロータリーチェーン張り手順」

- 1) カバーをはずしてください。
- 3) C, Dでチェーンを張ります。
- 4) C, Dの①のナットを緩めてください。
- 5) C, Dの②のナットで、チェーンを張ります。  
2ヶ所のナットとナットの隙間が同じになるように調整してください。  
チェーンのたるみ量は、5～10mmに調整してください。  
調整後、C, Dの①のナットを締めます。
- 6) A, B(2ヶ所)のナットを締めます。

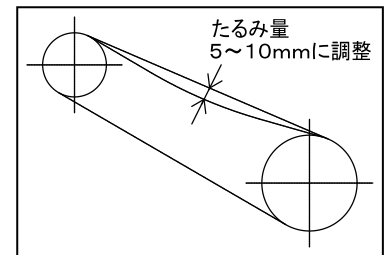
C



D



#### チェーンのたるみ調整



### 4. 水洗い

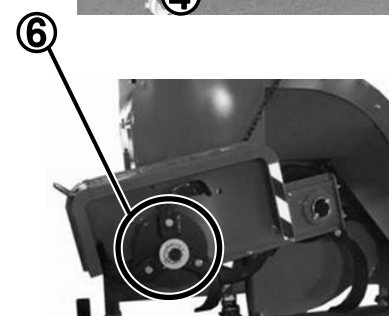
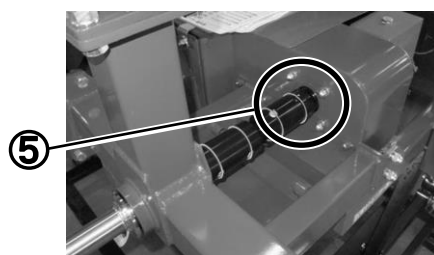
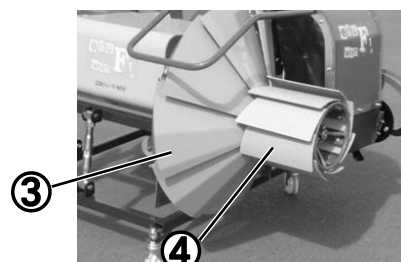
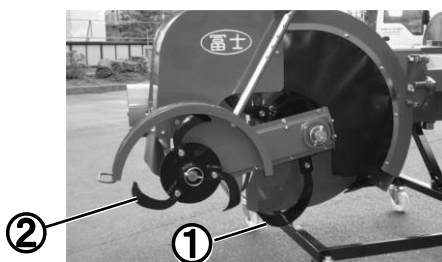
作業後は必ず、ロータリーの土(ホッパー内)は、きれいに洗い落としましょう。

### 5. 樹脂羽根の保管

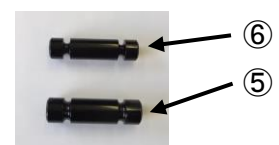
樹脂の特性を保持する為に長時間使わない時には直射日光が当たらないようにして下さい。

**野外放置**

### 6. 消耗品について



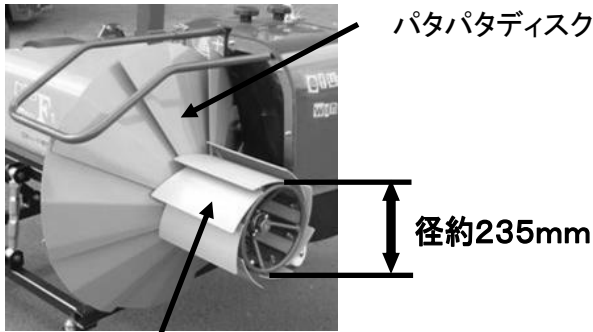
- ① 爪(土上げ用)
- ② 爪(上面削り用)
- ③ 円錐ディスク羽根(樹脂)
- ④ 上面ドラム羽根(樹脂)
- ⑤ PICシャフトシャープピン  
(サイズ:  $\phi 14 \times 54\text{mm}$ )
- ⑥ 上面処理ロータリーシャープピン  
(サイズ:  $\phi 12 \times 52\text{mm}$ )



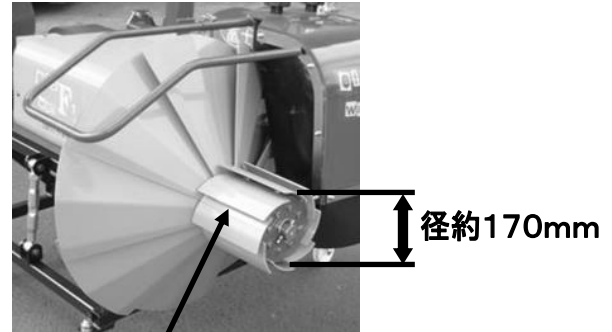
等は消耗品です。

## 【 オプション 】

乾田用(パタパタディスク・パタパタ上面ドラム)

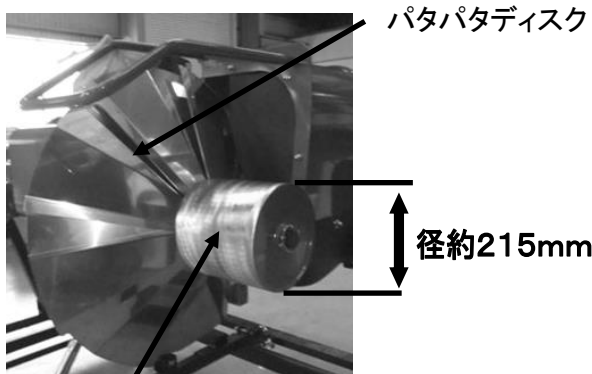


パタパタ上面ドラム(25cm用)

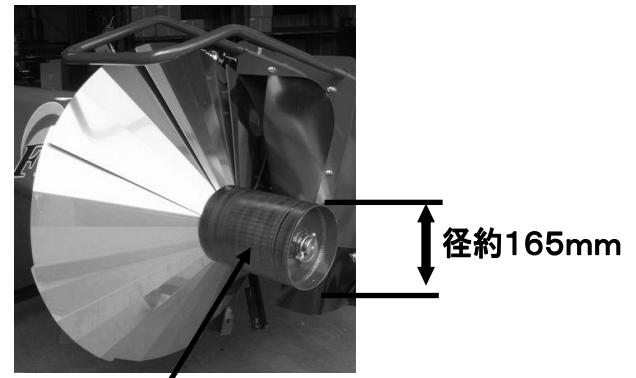


パタパタ上面ドラム(30cm用)

湿田用(パタパタディスク・上面ドラム)



上面ドラム(25cm用)



上面ドラム(30cm用)

## 【 ワンポイントアドバイス Q&A 】

こんなときは	こう処置してください
<p>1. 畦が固く締まらない</p>	<p>1) 圃場が乾いていませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白く乾いたホコリがたつような圃場では、湿りが無いので土と土がくっつかず畦が固まりません。このような乾いている時は、作業しないで下さい。一雨か二雨後の適度な湿り状態になってから作業してください。</li> </ul> <p>2) 作業速度が速くないですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業速度が速すぎると畦は形になるのですが、畦の芯まで締まりません。作業速度は、トラクターの作業表示板を見て通常は、0.7～1.2km/hにしてください。乾き気味のときは、1速遅く、湿り気味のときは1速速くと状況に応じて対応してください。</li> </ul> <p>3) 長草が生えてないですか。又は畦際に長いワラが飛散していませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長草や長いワラが畦際にあると畦塗りをした畦の土と土の間に長草や長いワラが入りサンドイッチ状態になって畦は固く締まりません。長い畦草は刈払い畦際の飛散ワラを取り除きましょう。</li> </ul>



こんなときは	こう処置してください
<p>2. 畦上部肩が固く締まらない</p>	<p>1) 畦の高さに適した上面ドラムを使っていますか。</p> <p>25cm上面ドラム 元畦が15cm～25cmの畦に使用できます。  30cm上面ドラム 元畦が20cm～30cmの畦に使用できます。  元畦が上記ドラム範囲より低い場合畦上面が十分に締まらない事があります。</p>
<p>3. 畦の広がってしまう</p>	<p>1) 尾輪/安定板のセット位置が圃場に合っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圃場の湿地帯で、全面耕耘されていると、トラクターを元畦裾にセットしても走行しだすと、車輪はどうしても田の中へ入っていきます。秋耕しの時は走行部分だけ、耕耘をしないでおいってください。  (尾輪/安定板の調整はP. 10を参照してください。)</li> <li>・ ホッパーに土が溜まりすぎたときも畦が大きくなります。次項をご参照ください。</li> </ul>
<p>4. メインホッパー内で土が溜まってトラクターが曲がる。</p>	<p>1) 圃場が湿り過ぎていませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少し乾く迄待ってから作業して欲しいのですが、地域によっては、これが最も良い条件でこれ以上の乾きが無いという場合も有ると思います。このような場合は、走行スピードを0.7km～1.2kmにして軽く畦を撫でる感じで作業してください。  また、畦塗機ロータリー爪を2本抜くことで土の上がり量が少なくなります。</li> </ul>
<p>5. チェーンが切れる</p>	<p>1) 元畦の中に石、杭がないですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このような石の多い圃場では、少し畦が広がりますが元畦をロータリーで削らないようにしてください。石などの障害物はすぐに取り除きましょう。</li> </ul> <p>2) チェーンが緩んでいませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チェーンが緩んでいると、衝撃でチェーンが切れる場合があります。  (チェーンテンションの点検 P. 12を参照してください。)</li> </ul>



# 株式会社 富士トレーラー製作所

〒959-0310 新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地  
TEL(0256)94-5551(代) ・ FAX(0256)94-5555  
<http://fuji-trailer.co.jp>

秋田営業所	／	〒014-0073	秋田県大仙市内小友字中沢263-4	TEL (0187)68-4511 (代) FAX (0187)68-4855
鷹巣営業所	／	〒018-3301	秋田県北秋田市綴子字佐戸岱5-21	TEL (0186)63-2384 (代) FAX (0186)63-2385
酒田営業所	／	〒998-0852	山形県酒田市こがね町2丁目1番地の10	TEL (0234)23-3791 (代) FAX (0234)23-3790
古川営業所	／	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字浦田137-2	TEL (0229)25-6536 (代) FAX (0229)25-6537
大宮営業所	／	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目268番地3	TEL (048)652-3877 (代) FAX (048)652-0729
新潟営業所	／	〒959-0310	新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地	TEL (0256)94-3141 (代) FAX (0256)94-5734